

味の素株式会社 2019年3月期 決算概要①

■財務諸表・外部影響等

(単位:億円)

損益計算書	FY18実績	FY17実績 *2	増減額	増減率	19/1-3月	18/1-3月 *2	増減額	増減率	FY18 再修正予想	進捗率
売上高	11,274	11,147	126	1%	2,810	2,824	▲14	▲0%	11,468	98%
持分法による損益	▲5	39	▲44	-	▲6	7	▲13	-	-	-
★ 事業利益 *1	926	956	▲30	▲3%	183	147	35	24%	862	107%
固定資産売却益	6	4	1	41%	1	0	0	95%	-	-
その他	54	74	▲19	▲25%	18	29	▲11	▲39%	-	-
その他の営業収益	61	78	▲17	▲21%	19	30	▲11	▲36%	-	-
固定資産除去損	34	29	4	14%	9	11	▲1	▲14%	-	-
その他	422	218	203	93%	105	159	▲53	▲33%	-	-
その他の営業費用	456	248	207	83%	115	171	▲55	▲32%	-	-
★ 営業利益	531	787	▲255	▲32%	87	7	79	1,086%	502	105%
受取利息	43	44	▲0	▲0%	13	11	1	17%	-	-
その他	37	51	▲14	▲27%	10	35	▲24	▲69%	-	-
金融収益	81	95	▲14	▲15%	24	46	▲22	▲48%	-	-
支払利息	33	30	2	9%	8	8	▲0	▲7%	-	-
その他	37	44	▲6	▲15%	5	30	▲25	▲82%	-	-
金融費用	70	74	▲4	▲5%	13	39	▲25	▲66%	-	-
★ 税引前当期利益	542	808	▲266	▲32%	97	14	83	575%	495	109%
法人所得税	177	153	23	15%	10	▲31	42	-	190	92%
税率	32.6%	18.9%			10.6%	-			38.4%	
継続事業	364	654	▲290	▲44%	87	46	41	88%	-	-
非継続事業 *3	25	26	▲1	▲6%	7	6	1	17%	-	-
当期利益	390	681	▲291	▲42%	94	52	42	80%	316	123%
★ 親会社の所有者	296	601	▲304	▲50%	73	46	26	57%	216	137%
非支配持分	93	80	12	15%	21	5	15	261%	100	93%

*1 当社が経営管理のため独自に定義した利益指標。(売上高 - 売上原価 - 販売費・研究開発費及び一般管理費 + 持分法による損益)

*2 当第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2018年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

*3 当第1四半期より、物流事業を非継続事業に分類しております。これにより非継続事業からの利益は、継続事業と区分して表示しております。これに伴い、売上高、事業利益、営業利益、税引前当期利益は、継続事業の金額を表示しております。

なお、対応する2018年3月期についても同様に組み替えて表示しております。

★ 2019年3月期においては、プロマシードール・ホールディングス社(以下、PH社)、味の素フーズ・ノースアメリカ社(以下、AFNA社)、イスタンブール味の素食品社(以下、AIS社)において減損損失を計上いたしました。なお、各社に関する減損損失の内容を各段階利益別に記載すると以下の通りです。

(単位:百万円)

	FY18			19/1-3月		
	事業利益	営業利益 税引前当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	事業利益	営業利益 税引前当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益
①AFNA社に係るのれんの減損損失	-	13,525	10,047	-	-	-
②持分法で会計処理されているPH社に対する 投資に係る減損損失(33.33%出資相当)	-	14,107	14,107	-	503	503
③PH社商標権に係る減損損失(33.33%出資相当)	3,222	3,222	3,222	-	-	-
④AIS社に係るのれんの減損損失	-	3,843	3,843	-	3,843	3,843
合計	3,222	34,698	31,220	-	4,346	4,346

(単位:億円)

除く換算為替	FY18実績	FY17実績	増減額	増減率	19/1-3月	18/1-3月	増減額	増減率
日本食品	3,751	3,841	▲89	▲2%	884	915	▲31	▲3%
海外食品	4,925	4,647	278	6%	1,227	1,163	63	5%
ライフサポート	1,091	1,185	▲94	▲8%	258	307	▲49	▲15%
ヘルスケア	1,364	1,199	164	13%	404	362	42	11%
その他	271	273	▲1	▲0%	66	75	▲8	▲11%
売上高	11,404	11,147	256	2%	2,841	2,824	16	0%
日本食品	298	388	▲90	▲23%	42	51	▲9	▲17%
海外食品	437	414	22	5%	92	72	19	27%
ライフサポート	97	80	16	20%	19	17	1	7%
ヘルスケア	126	93	32	34%	48	35	13	37%
その他	▲12	▲21	9	▲44%	▲16	▲28	12	▲44%
事業利益	947	956	▲9	▲1%	185	147	37	25%

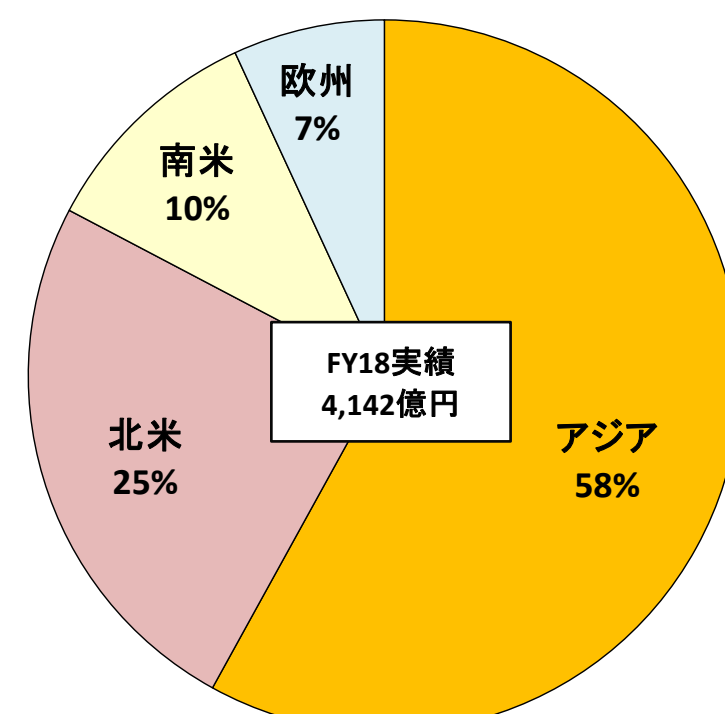
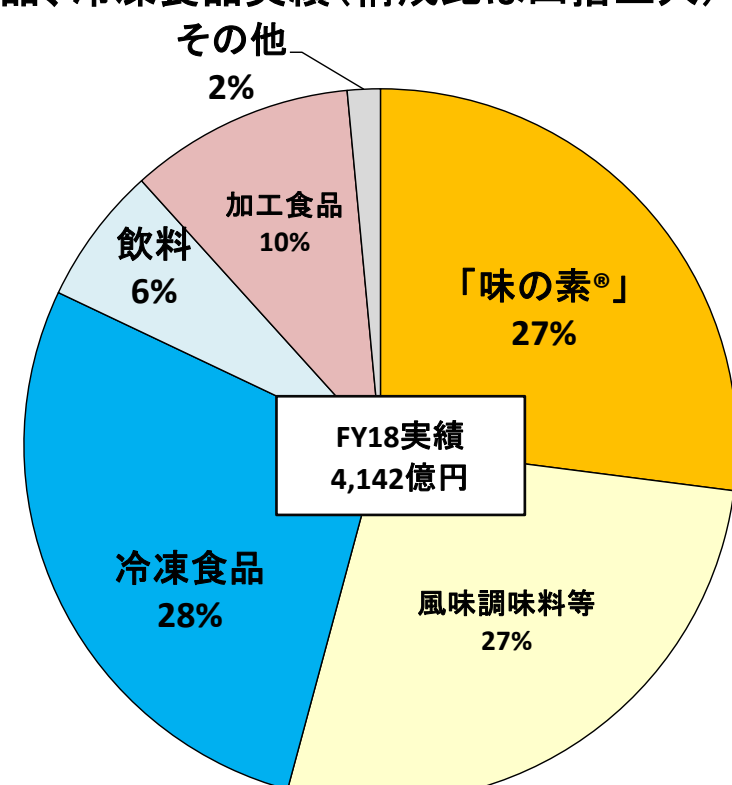
(単位:億円)

外部影響(対前年増減)	FY18実績	19/1-3月実績
換算為替	売上高 ▲129 ・ 事業利益 ▲21	売上高 ▲31 ・ 事業利益 ▲2
貿易為替*	売上高 +約25 ・ 事業利益 +約15	売上高 +約5 ・ 事業利益 +約5
日本食品原材料	+9 (調味料・加工食品 +6、冷凍食品 +3)	+2 (調味料・加工食品 +1、冷凍食品 +1)
発酵原料	▲30(主原料 ▲20、副原料 ▲8、エネルギー ▲1)	▲3(主原料 ▲1、副原料 ▲0、エネルギー ▲1)
コストダウン(日本食品)	+28 (調味料・加工食品 +14、冷凍食品 +14)	+5 (調味料・加工食品 +1、冷凍食品 +3)

*5億円単位の概数で表示

為替レート	18/ 4-6月	17/ 4-6月	18/ 7-9月	17/ 7-9月	18/ 10-12月	17/ 10-12月	19/ 1-3月	18/ 1-3月	FY18 修正予想
円/USD	109.10	111.09	111.43	111.00	112.91	112.98	110.22	108.22	111.00
円/EUR	130.03	122.26	129.55	130.37	128.82	133.02	125.16	133.14	129.00
円/THB	3.42	3.24	3.38	3.32	3.44	3.42	3.49	3.43	3.38
円/BRL	30.27	34.54	28.24	35.09	29.63	34.79	29.29	33.37	29.90

■海外調味料・加工食品、冷凍食品実績(構成比は四捨五入)



2018年度 Five Starsおよび海外冷凍食品 売上高対前年増減率

タイ 約332億THB (LCベース+4%*, 円ベース+6%) *内訳>調味料 +2%、加工食品 +6%

インドネシア 約5兆3,062億IDR (LCベース+5%、円ベース▲1%)

ブラジル 約10.8億BRL (LCベース+2%*, 円ベース▲12%) *+7%>昨年度計上ベースでの比較

ベトナム 約8兆4,960億VND (LCベース+6%、円ベース+4%)

フィリピン 約75億PHP (LCベース+10%、円ベース+6%)

海外冷凍食品 LCベース+8%、円ベース+8%

味の素株式会社 2019年3月期 決算概要②

■セグメント別実績

【日本食品】

(単位:億円)

	FY18実績	FY18再修正予想	進捗率	FY17実績	増減額	19/1-3月実績	18/1-3月実績	増減額
売上高	3,750	3,804	98%	3,841	※ ▲ 91	883	915	▲ 31
調味料・加工食品	1,910	1,955	97%	1,902	*1 7	452	457	▲ 4
冷凍食品(日本)	973	978	99%	1,008	*2 ▲ 35	231	240	▲ 8
コーヒー類	876	871	100%	930	*3 ▲ 54	201	218	▲ 16
事業利益	298	292	102%	388	*4 ▲ 90	42	51	▲ 9
調味料・加工食品	325	-	-	348	▲ 22	60	61	▲ 0
冷凍食品(日本)	41	-	-	78	▲ 37	10	12	▲ 2
コーヒー類	50	-	-	78	▲ 27	4	11	▲ 7
全社共通費	▲ 119	▲ 125	95%	▲ 116	▲ 2	▲ 32	▲ 33	0

※ 消去▲9億円含む

以下、2019年3月期(18/4-19/3月)に関するコメントです。増減要因については、影響額の大きい順に並べております。

- *1 家庭用、業務用ともに前年並みで、全体で前年並み。
- *2 業務用は主力カテゴリーが拡大し増収。家庭用は、「ギョーザ」がシリーズ計で前年を上回るも、から揚げや米飯の主力製品が競争激化の影響等により前年を下回り減収。よって、全体で減収。
- *3 CVS向けやギフト製品、また市場縮小に伴う競争激化の影響を受けた家庭用製品の減収により全体で減収。
- *4 調味料・加工食品は、家庭用は前年並みも、業務用は原燃料価格の上昇影響等により大幅減益となり全体で減益。冷凍食品及びコーヒー類は、上述の売上減少等により大幅減益。

【海外食品】

(単位:億円)

	FY18実績	FY18再修正予想	進捗率	FY17実績	増減額	19/1-3月実績	18/1-3月実績	増減額
売上高	4,816	4,795	100%	4,647	169	1,210	1,163	47
調味料・加工食品	2,989	2,983	100%	2,931	*1 57	759	724	35
冷凍食品(海外)	1,153	1,164	99%	1,062	*2 90	285	275	10
加工用うま味調味料・甘味料	674	647	104%	652	*3 21	165	163	1
事業利益	423	394	107%	414	*4 8	91	72	19
冷凍食品(海外)	12	13	98%	23	▲ 11	7	▲ 4	11
全社共通費	▲ 148	▲ 151	97%	▲ 152	3	▲ 43	▲ 44	0

<調味料・加工食品 換算為替影響>

FY18通期 売上高:▲95億円、事業利益:▲10億円

19/1-3月 売上高:▲15億円、事業利益:▲1億円

- *1 換算為替によるマイナス影響(▲95億円)あるも、調味料や「味の素®」、タイにおける缶コーヒーの販売拡大等により、全体で増収。
- *2 北米におけるアジア製品やアペタイザー製品の販売拡大、また欧州の販売拡大等により増収。
- *3 加工用うま味調味料は海外における販売拡大により、甘味料は加工用の販売拡大により増収。参考>加工用うま味調味料の売上高 514億円
- *4 調味料・加工食品は、増収に伴う増益効果あるも、プロマシードル社の減損損失(▲32億円)、換算為替によるマイナス影響(▲10億円)、発酵原燃料価格の上昇等により全体で前年並み。冷凍食品は、米国における生産性改善が進むも、物流費の高騰等により大幅減益。加工用うま味調味料は、発酵原燃料価格上昇の影響あるも、貿易為替影響および販売拡大等により大幅増益。甘味料は、主に増収に伴い増益。参考>調味料・加工食品 ▲2、冷凍食品 ▲11、加工用うま味調味料 +16、甘味料 +1

【ライフサポート】

(単位:億円)

	FY18実績	FY18再修正予想	進捗率	FY17実績	増減額	19/1-3月実績	18/1-3月実績	増減額
売上高	1,079	1,184	91%	1,185	▲ 106	254	307	▲ 53
動物栄養	726	835	87%	870	*1 ▲ 143	169	228	▲ 59
化成品	327	-	-	291	*2 35	77	72	4
その他	24	-	-	23	1	7	5	1
事業利益	95	90	106%	80	*3 14	19	17	1
動物栄養	19	20	96%	30	▲ 11	6	11	▲ 4
化成品	115	-	-	94	20	24	21	2
その他	▲ 6	-	-	▲ 7	1	▲ 2	▲ 4	2
全社共通費	▲ 32	▲ 35	91%	▲ 36	4	▲ 9	▲ 10	1

<セグメント変更(過去実績組替済み)>

ライフサポート「化成品」に含まれていた「化粧品素材事業」を2018年度よりヘルスケア「その他」へ変更しております。

- *1 主にスレオニン、リジンの販売数量減少により大幅減収。
- *2 主に電子材料の販売好調により増収。
- *3 動物栄養は、主にトリプトファンの単価下落影響により大幅減益。化成品は増収に伴い大幅増益。

【ヘルスケア】

(単位:億円)

	FY18実績	FY18再修正予想	進捗率	FY17実績	増減額	19/1-3月実績	18/1-3月実績	増減額
売上高	1,353	1,419	95%	1,199	153	394	362	31
アミノ酸	940	-	-	792	*1 147	299	266	33
その他	412	-	-	406	*2 5	94	96	▲ 1
事業利益	120	111	108%	93	27	46	35	11
アミノ酸	125	-	-	90	*3 34	46	40	6
その他	40	-	-	42	*4 ▲ 2	14	7	7
全社共通費	▲ 44	▲ 43	103%	▲ 38	▲ 5	▲ 14	▲ 12	▲ 1

- *1 製薬カスタムサービス、医薬用・食品用アミノ酸ともに、販売拡大および子会社の新規連結影響(約+25億円)等により大幅増収。参考>医薬用・食品用アミノ酸 +64、製薬カスタムサービス +83
- *2 化粧品素材の販売拡大等により増収。
- *3 医薬用・食品用アミノ酸、製薬カスタムサービスともに大幅増収に伴い大幅増益。参考>医薬用・食品用アミノ酸 +19、製薬カスタムサービス +14
- *4 計上サブセグメント変更(製薬カスタムサービスに移管)影響等により減益。

【その他】

(単位:億円)

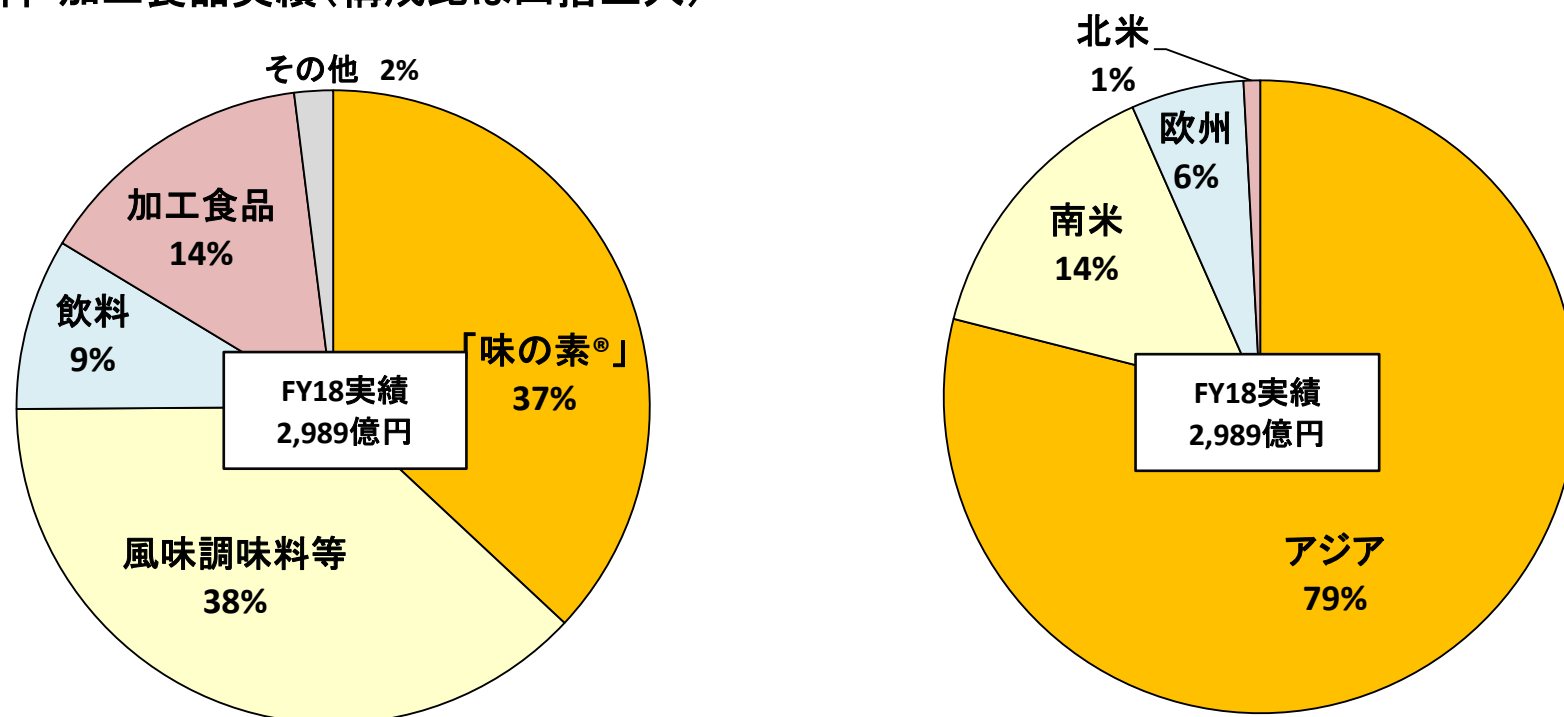
	FY18実績	FY18再修正予想	進捗率	FY17実績	増減額	19/1-3月実績	18/1-3月実績	増減額
売上高	274	266	103%	273	*1 1	66	75	▲ 8
事業利益	▲ 12	▲ 25	49%	▲ 21	*2 9	▲ 16	▲ 28	12
全社共通費	▲ 26	▲ 26	98%	▲ 22	▲ 3	▲ 8	▲ 5	▲ 2

- *1 全体で前年並み。
- *2 全体で赤字幅縮小。

味の素株式会社 2019年3月期 決算概要③

2019年5月10日

参考1 海外調味料・加工食品実績(構成比は四捨五入)



参考2 地域別業績

(単位:億円)

<売上高>	日本	アジア	米州	欧州	合計
日本食品	3,663 (▲92)	36 (▲0)	29 (3)	19 (▲2)	3,750 (▲91)
海外食品	150 (▲2)	2,519 (111)	1,716 (23)	430 (37)	4,816 (169)
ライフサポート	351 (22)	121 (▲20)	334 (▲78)	271 (▲30)	1,079 (▲106)
ヘルスケア	539 (63)	38 (3)	313 (54)	461 (31)	1,353 (153)
その他	142 (▲11)	131 (13)	-	-	274 (1)
合計	4,848 (▲20)	2,847 (108)	2,395 (3)	1,183 (36)	11,274 (126)
	4,869	2,739	2,391	1,147	11,147

上段: FY18実績、下段: FY17実績、()内は増減額。

(単位:億円)

<事業利益>	日本	アジア	米州	欧州	地域外	合計
日本食品	385 (▲87)	23 (▲0)	5 (0)	4 (▲2)	▲118 (▲0)	298 (▲90)
海外食品	472	23	4	6	▲118	388
ライフサポート	▲7 (▲15)	454 (31)	119 (▲7)	11 (▲3)	▲154 (3)	423 (8)
ヘルスケア	8	422	127	14	▲157	414
その他	101 (4)	▲4 (▲3)	16 (9)	14 (1)	▲32 (4)	95 (14)
全社共通費等	97	▲0	7	13	▲36	80
合計	61 (15)	7 (4)	57 (17)	42 (3)	▲48 (▲13)	120 (27)
	46	2	40	39	▲35	93
	19 (7)	▲6 (3)	-	0 (▲0)	▲26 (▲0)	▲12 (9)
	12	▲9	-	1	▲25	▲21
	▲191 (▲6)	▲91 (▲1)	▲64 (2)	▲32 (▲0)	380 (6)	-
	▲184	▲90	▲66	▲31	373	-
合計	369 (▲83)	382 (34)	133 (21)	40 (▲2)	-	926 (▲30)
	453	348	112	43	-	956

上段: FY18実績、下段: FY17実績、()内は増減額。
全社共通費等には未実現利益消去等も含む。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。

※ 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
※ 本資料の金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。

味の素株式会社 2019年3月期 決算補足資料

5/10修正箇所
5/22修正箇所
6/26修正箇所

◆当社シェアおよび市場関連情報

(1)主要製品 家庭用市場シェア(当社推定 消費者購入ベース)

調味料・加工食品

製品領域	主要ブランド	2017年度		2018年度		2019年度
		市場規模 (億円)	当社シェア (順位)	市場規模 (億円)	当社シェア (順位)	市場規模予想 (億円)
うま味調味料	「味の素®」、「ハイミー®」	56	90%(1位)	54	90%(1位)	52
和風だしの素	「ほんだし®」	376	58%(1位)	364	57%(1位)	353
コンソメ	「味の素KKコンソメ」	121	81%(1位)	118	81%(1位)	120
スープ	「クノール®」	940	38%(1位)	950	38%(1位)	970
マヨネーズ類	「ピュアセレクト®」	534	26%(2位)	536	26%(2位)	531
合わせ調味料	「Cook Do®」、 「Cook Do®きょうの大皿®」	779	30%(1位)	795	31%(1位)	803

冷凍食品

製品領域	主要ブランド	2017年度		2018年度		2019年度
		市場規模 (億円)	当社シェア (順位)	市場規模 (億円)	当社シェア (順位)	市場規模予想 (億円)
ギョーザ類	「ギョーザ」等	444	48%(1位)	461	48%(1位)	5%程度成長

コーヒー類

製品領域	ブランド	2017年度		2018年度		2019年度
		市場規模 (億円)	当社シェア (順位)	市場規模 (億円)	当社シェア (順位)	市場規模予想 (億円)
インスタント瓶	「Blendy®」、「MAXIM®」	387	5%(3位)	371	5%(3位)	356
インスタント瓶詰替え	「Blendy®」、「MAXIM®」	281	41%(2位)	277	40%(2位)	271
スティック	「Blendy®」スティック、 「Blendy®カフェトリー」スティック	326	59%(1位)	328	58%(1位)	338
ホームレギュラー	「ちよつと贅沢な珈琲店®」	240	16%(3位)	236	16%(3位)	231
パーソナル・ レギュラー	「Blendy®」ドリップ、 「ちよつと贅沢な珈琲店®」ドリップ	199	13%(3位)	203	13%(3位)	209

(2)日本食品 家庭用/業務用比率*1

(単位:億円)

		17/4-9月	2017年度	18/4-9月	2018年度
調味料・加工食品	売上高	899	1,902	909	1,910
	家庭用	51%	54%	51%	54%
	業務用*2	49%	46%	49%	46%
冷凍食品*3	売上高	631	1,254	615	1,222
	家庭用	63%	63%	62%	61%
	業務用	37%	37%	38%	39%
コーヒー類*4	売上高	453	964	421	909
	家庭用	73%	75%	72%	75%
	業務用	27%	25%	28%	25%

*1: 構成比は四捨五入、*2: 業務用調味料・加工食品、加工用調味料(天然系調味料・酵素製剤等)、弁当・惣菜、ベーカリー

*3: 味の素冷凍食品社単体の数値であり、総売上高で記載、*4: 味の素AGF社単体の数値を記載

(3)北米の日本食・アジア食の冷凍食品 当社推定市場規模および市場シェア

	2017年度	2018年度	2019年度予想
市場規模*1(百万USD)	643	655	4-5%程度成長
味の素フーズ・ノースアメリカ社*2	30%(1位)	33%(1位)	-

*1 除くクラブストア向け、PB

*2 2018年4月より社名変更(旧味の素ウィンザー社)

味の素株式会社 2019年3月期 決算補足資料

5/10修正箇所
5/22修正箇所
6/26修正箇所

(4)MSG、核酸系調味料 当社推定市場規模

	2017年度				2018年度			
	中国	その他	計	当社シェア	中国	その他	計	当社シェア
MSG(千ト)	1,640	1,570	3,210*1	約20%	1,660	1,600	3,260*2	約20%
核酸系調味料(千ト)	-	-	49	約30%	-	-	54	約25%

*1 家庭用:60%弱、加工食品メーカー向け:40%強

*2 家庭用:60%弱、加工食品メーカー向け:40%強

(5)アミノ酸系甘味料アスパルテーム 当社推定市場規模

	2017年度		2018年度		2019年度予想	
	市場規模	当社シェア	市場規模	当社シェア	市場規模	当社シェア
アスパルテーム(千ト)	26.0前後	30%弱	28.0前後	30%弱	29.0前後	30%弱

(6)飼料用アミノ酸 市況および当社推定市場規模

		2016年度	2017年度	18/4-9月	2018年度	19/4-9月 予想*2	2019年度 予想*2
スプレッド(USD/ST)*1		210	195	210	195	170-200	160-220
市場価格 (USD/kg・ CIFベース)	リジン	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40
	スレオニン	1.75	1.70	1.55	1.55	1.50	1.45
	トリプトファン	8.00	11.00	11.00	9.50	8.00	8.00
市場規模 (千ト)	リジン	2,300前後	2,400前後		2,600前後		2,400前後
	当社シェア	15%前後	15%前後		10%前後		10%前後
	スレオニン	540前後	640前後		700前後		680前後
	当社シェア	20%前後	20%前後		10%前後		15%前後
	トリプトファン	33前後	37前後		41前後		49前後
	当社シェア	20%前後	25%前後		25%前後		25%前後

*1 シカゴ商品取引所(CBOT)の大豆粕とウモロコシの価格差 *2 業績予想の前提とは一致せず

◆セグメント別SG&A、設備投資内訳

(1)減価償却費

(単位:億円)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度予想
日本食品	107	122	131	139
海外食品	175	196	201	220
ライフサポート	59	63	53	63
ヘルスケア	58	72	73	102
その他	21	11	13	16
全社	40	42	51	58
計	462	509	524	598

(2)設備投資

(単位:億円)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度予想
日本食品	448	168	197	273
海外食品	214	311	274	297
ライフサポート	87	66	56	50
ヘルスケア	88	160	161	134
その他	24	32	13	48
全社	32	55	91	13
計	896	794	796	815

(3)研究開発費

(単位:億円)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度予想
日本食品	34	34	35	41
海外食品	35	37	36	39
ライフサポート	50	52	54	47
ヘルスケア	25	25	29	39
その他	2	8	2	3
全社	122	119	120	118
計	271	278	278	287